

【書式 33】 保全異議の申立書・当事者目録

保全異議申立書

収入  
印紙

令和〇〇年〇月〇〇日

東京地方裁判所民事第9部 御中

債務者代理人弁護士 ○ ○ ○ ○ 印

当事者の表示 別紙当事者目録記載のとおり

申立ての趣旨

- 1 債権者と債務者間の東京地方裁判所令和〇年（ヨ）第〇〇〇号債権仮差押命令申立事件について、同裁判所が令和〇年〇月〇日にした仮差押決定を取り消す。
- 2 債権者の上記債権仮差押命令の申立てを却下する。
- 3 申立費用は債権者の負担とする。  
との裁判を求める。

申立ての理由

第1 被保全権利の不存在

- 1 債権者の主張は、債権者が〇〇〇〇に対して令和〇年〇月〇日に金100万円を貸し付けた際、債務者が〇〇〇〇の債権者に対する支払債務の履行を連帯して保証したというものであり、その疎明として連帯保証契約書（甲1の1、2）を提出している。
- 2 しかし、債務者は〇〇〇〇と全く面識はなく、〇〇〇〇の債権者に対する債務の履行を連帯保証したことはない。甲1の1の債務者の署名部分は債務者が書いたものではない。

第2 保全の必要性の不存在

債権者は、債務者が勤務先の〇〇株式会社を解雇されて定職に就いていないと主張しているが、全く誤りである。債務者は、現在も〇〇株式会社の販売第2課長として勤務している真面目なサラリーマンで（乙1）、特に借金もなく、本当に保証をしたならば、100万円位を支払えないわけではない。保証をしていないから支払わないと言っているだけである。

### 第3 まとめ

したがって、本件仮差押決定は、被保全権利も必要性も認められないから、直ちに取り消されるべきである。

#### 疎明方法

1 乙1号証 在職証明書

#### 添付書類

1 乙1号証 1通

2 委任状 1通

当 事 者 目 録

〒〇〇〇-〇〇〇〇 東京都千代田区有楽町〇丁目〇番〇号

債 権 者 〇〇〇株式会社  
代表者代表取締役 〇 〇 〇 〇

〒〇〇〇-〇〇〇〇 東京都中央区銀座〇丁目〇番〇号

銀座〇〇法律事務所（送達場所）

電話（〇〇）〇〇〇-〇〇〇〇

FAX（〇〇）〇〇〇-〇〇〇〇

債権者代理人弁護士 〇 〇 〇 〇

〒〇〇〇-〇〇〇〇 横浜市金沢区泥亀〇丁目〇番〇号

債 務 者 〇 〇 〇 〇

〒〇〇〇-〇〇〇〇 東京都千代田区内神田〇丁目〇番〇号

〇〇法律事務所（送達場所）

電話（〇〇）〇〇〇-〇〇〇〇

FAX（〇〇）〇〇〇-〇〇〇〇

債務者代理人弁護士 〇 〇 〇 〇